



全日本実業団大会準決勝 7月28日(日) 金沢市専光寺ソフトボール場

大和電機工業	1	0	0	0	1	3	0	5
	1	2	3	4	5	6	7	
平林金属	0	0	0	2	1	0	0	3

投手 大串都未希

2塁打 長尾明奈、小川瑠菜、矢崎月菜

7月28日、全日本実業団大会決勝進出をかけて平林金属との準決勝が行われた。平林金属とは交流節で対戦し、敗戦しており、リベンジをかけた一戦。1回の表、この日も先頭長尾がツーベースを放つと、上原のセカンドゴロの間に3塁に進み、原野のファーストゴロの間に長尾が好スタートを切り、先制した。4回裏、平林金属は大和電機の守備の乱れに付け入り2点を奪い逆転した。5回表に1点を返し、同点としたものの、5回裏に本塁打を浴び、1点を入れられ再び逆転された。しかし、6回の表、1アウト2・3塁の場面で小川瑠菜(ルナ)がセンターオーバリーの2塁打で2点を入れて再度逆転し、更にチャンスで今度は矢崎月菜(ルナ)が左中間に2塁打を打ち、小川が生還して1点を追加、試合を決めた。小川と矢崎の同期コンビ、ルナ&ルナの活躍で全日本実業団大会3年連続で決勝戦へ駒を進めた。投のヒロインはやはりこの試合、一人で投げ抜いた大串だ。この日も酷暑だったが、気迫のピッチングで大串がチームを勝利に導いてくれた。

同期の活躍で決勝決めた